

【資料5 - 4】

平成16年度広島市立舟入高等学校公開研究授業学習指導案

教諭 川 本 由 美

1. 期 日 11月11日
2. 時 間 6限「総合英語」
3. 対 象 1年10組(普通科・国際コミュニケーションコース) 20名
4. 内 容 英文法知識の定着のための訓練活動
5. 単元設定の意図

(1)教材観

英文法の知識の習得と定着の段階においては、自分自身で理解度を確認しながら反復的に演習を行う期間も必要である。生徒にとっては忍耐を必要とする期間でもあるが、この段階における自発的な学習への動機付けのために、個人学習用ソフト(『広島市立大学開発インプット学習プログラム』)の使用を試みる。このソフトはリスニング、読解、語彙・文法(選択型、訂正型)の3つの分野に分かれていて、大学での教育では、TOEICの得点が短期間で伸びるなど、相当な成果が報告されている。生徒一人一人の到達度に応じて、次のステップに進むまで何度も、チャレンジ・復習ができ、コンピューターの特性を生かし楽しみながら、かつインプットの面で総合的に英語の定着を図ることが期待できる。

(2)生徒観

本コースの生徒は、基本的に英語学習に対する強い興味と関心を持つので、英語の授業にはいつも積極的に参加をし、総合的に学力を伸ばしている。しかし、英文法の学習に対しては、「面白くない。苦手だ。」という声を聞くことも多く、本年度のこれまでの指導においても、この点の変化は感じられない。とくに英文法の知識・理解を積む段階においては、教科書と問題集を使用するだけの授業では、新鮮な感覚を保ち続けることが難しいようである。本時はこのような生徒の意識に対処するためにITを利用した学習法を導入し、学習内容の定着を図るとともに、この定着を基礎とするコミュニケーション活動への積極性へと繋がるよう指導をする。

(3)指導観

本時の教材及び教具の使用では、英文法の既習事項の定着をねらって語彙・文法のパートを練習させる(語彙・文法には詳しい解説あり)。さらにコミュニケーション活動への移行を意識してリスニングのパートを活用させる。リスニングは、ヘッドセットからの音声に加えて、画面の映像を参照する問題もあり、聴覚と視覚の両方を刺激しながら生徒の自発的な学習意欲を引き出せると考える。なお、ウォーミングアップでは、インターネットを使って、The Japan Times 週間STのニュース記事にアクセスさせ、昨今の出来事をタイムリーに英語で読むことで、英語に触れることの楽しさを喚起し、個人学習への移行をスムーズにすることを意図した。

6. 学習指導計画

次	学習内容・学習活動
1	文法学習(動名詞)に加え、The Japan Times 週間STのニュース記事(国内の身近な物)を読む
2	LL教室のヘッドセットを通してシャドーイング、レシテーション(ペアワーク)等の活動
3	ITを各自に渡し、学習ソフトの導入
4 本時	読み、聞く、文法の活動を生徒の自主・自発的なインプット学習に結びつける

7. 本時案

(1)ねらい

放課後を中心とした自学学習につながるインプットを中心とした教材に興味・関心を持たせ、自発的な学習意欲を高める。

Grammar & Listening : 学習ソフトを活用して、英文を正確に理解し、聞き取る能力を育てる。

Reading : The student Times の記事に触れ、そのアウトラインを把握し、自分の意見をまとめ発表させ、表現活動につなげる。

(2)学習過程

時間	活動	目的・留意点
(1) 15分	Reading Practice 1)インターネットを使って、事前に目を通しておくよう指示したニュース記事にアクセスをし、全体のサイレントリーディングを行う。(3分程度) 2)段落ごとの英文を聞き(AET に吹きこんでもらっている音声)、内容に関する質問に答える。	・国内の読みやすい話題を選ぶよう心がけ、一語一句の逐語訳形式ではなく大まかな内容把握につながる質問を行う。 ・ニュース記事から各自が自分の考えを持ち、それを表現できるよう導く。
(2) 15分	Grammar 1)生徒にITを使って、個人学習ソフトの語彙・文法(選択型)にアクセスさせる。 2)問題数(10問)を与え、個人学習をさせる。 3)全体で review を行い、文の暗唱を行う。	・各個人の到達度に応じた学習ができ、文法に対するにがて意識を和らげ、ゲーム感覚で楽しく学習できる。 ・全体で1~2問を文法、構文、熟語等を確認し、全体でコーラスリーディングを行う。(英文を見ないで、できるだけ流暢な形で) ・review を全体で行うことにより問題を全体の物とし、さらなる定着を図る。
(3) 20分	Listening Comprehension 1)各自で学習ソフトのリスニングの項目をクリックしヘッドセットを使ってトレーニングを始める。 2)全体で1~2問を再びオープンで聞き、reproduction を行い、その後リピーティングを行う。 3)映像のついた問いを1つ上げ、それについて短いストーリーを作り、発表する。	・一度に20名の生徒がアクセスをするのでコンピューターがきちんと作動しているか確認し、支障があればサポートする。 ・全体で review をする際できるだけ早いスピードで reproduction を行い、それを英文を見ないで流暢にリピーティングするよう心がけさせる。 ・イメージを広げて積極的に story を書くことを奨励する。